



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 タカノ株式会社

コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鷹野 準

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 大原 明夫

TEL 0265-85-3150

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,599	6.9	469	151.4	593	133.0	389	189.9
28年3月期第3四半期	13,654	10.6	186	—	254	151.6	134	180.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 471百万円 (1,167.9%) 28年3月期第3四半期 40百万円 (△82.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	25.65	—
28年3月期第3四半期	8.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	33,930	27,155	80.0	1,787.00
28年3月期	35,862	26,836	74.8	1,765.98

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 27,155百万円 28年3月期 26,836百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,400	4.8	1,100	12.3	1,220	20.6	810	24.8	53.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	15,721,000 株	28年3月期	15,721,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	524,811 株	28年3月期	524,773 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	15,196,214 株	28年3月期3Q	15,196,234 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の継続的な金融政策等を背景に、雇用・所得環境の改善が続いており、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米国大統領の今後の政策の影響や中国を中心とする海外経済の下振れリスク等から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで、当社グループは中期経営計画「Innovation 68」の基本方針である「構造改革とプロセス改革を進め、稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線を構築する」の実現を図るべく、計画で定める各施策の前倒し実行と一層の具体化に努めてまいりました。

具体的には、新規コア技術開発、新営業分野に関する製品開発、グローバル販売体制の拡充に注力する一方、引き続き、製造ラインへのロボットの導入等、生産性向上および合理化のための活動を推進してまいりました。

その結果、検査計測機器の販売が増加したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,599百万円で、前年同四半期比944百万円（6.9%）の増収となりました。

利益面につきましては、積極的なコストダウン活動の推進に加え、販売の拡大による粗利益額の改善等により、営業利益469百万円（前年同四半期比282百万円、151.4%の増益）、経常利益593百万円（前年同四半期比338百万円、133.0%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益389百万円（前年同四半期比255百万円、189.9%の増益）となりました。

【セグメント別の概況】

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント利益または損失（△）		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
住生活関連機器	5,825	5,826	0.0%	△67	△48	－%
検査計測機器	4,509	5,346	18.6%	93	272	191.9%
産業機器	1,590	1,622	2.0%	119	218	82.1%
エクステリア	687	622	△9.4%	△34	△35	－%
機械・工具	1,043	1,181	13.3%	87	54	△37.3%
報告セグメント計	13,654	14,599	6.9%	198	461	132.9%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△11	7	－%
合計	13,654	14,599	6.9%	186	469	151.4%

（住生活関連機器）

当セグメントは、当社、連結子会社上海鷹野商貿有限公司で構成され、主にオフィス用、福祉・医療施設用の椅子等の製造販売を行っております。

当セグメントにつきましては、前四半期に引き続き、ロボット等の新設備による製造の合理化に向けた活動を進めるとともに、新製品の開発および生産立ち上げのための活動を進めてまいりました。また、医療関連分野向けの製品の営業体制の拡充を図ってまいりました。

この結果、オフィス家具需要が底堅く推移したこと等により、売上高は前第3四半期連結累計期間とほぼ横ばいの5,826百万円となりました。利益面では積極的なコスト削減活動に努めた結果、セグメント損失は48百万円（前年同四半期はセグメント損失67百万円）と赤字幅を縮小することができました。

（検査計測機器）

当セグメントは、当社、連結子会社タカノ機械株式会社および台湾鷹野股份有限公司で構成され、主に液晶等の検査計測装置等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、中国における大口の液晶製造設備投資需要を取り込むべく販売活動に注力してまいりました。また、半導体関連・電子デバイス関連向け等の新製品・新技術の開発を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間は中国および台湾顧客向けの大口物件にかかる売上高の計上により、売上高は5,346百万円で前第3四半期連結累計期間比836百万円、18.6%の増収となりました。また、利益面では装置販売価格の低下等の影響はあったものの、コストダウン活動を積極的に推し進めたこと、販売の拡大にともない粗利

益額が増加したこと等により、セグメント利益は272百万円で前第3四半期連結累計期間比178百万円、191.9%の増益となりました。

（産業機器）

当セグメントは、当社、連結子会社香港鷹野国際有限公司で構成され、主に電磁アクチュエータ・ユニット（ばね）製品等を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、生産性向上を目的とした生産ラインの徹底した改善活動、海外市場への積極的な営業活動および医療関連分野向け電磁アクチュエータの販売拡大に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,622百万円で前第3四半期連結累計期間比32百万円、2.0%の増収となりました。また、セグメント利益は218百万円で、前第3四半期連結累計期間比98百万円、82.1%の大幅な増益となりました。

（エクステリア）

当セグメントは、当社が主に跳ね上げ式門扉、カーポート、テラス、オーニング、ガーデンファニチャー等のエクステリア製品を製造販売しております。

当セグメントにつきましては、オーニング等の業務用途の物件受注に向けた広告宣伝活動や新製品の開発に注力するとともに、物件受注体制の拡充に取り組んでまいりました。

しかしながら、売上高は622百万円で前第3四半期連結累計期間比64百万円、9.4%の減収となり、セグメント損失は35百万円（前年同四半期はセグメント損失34百万円）となりました。

（機械・工具）

当セグメントは、株式会社ニッコーによる機械・工具等の仕入販売に関する事業であります。

当セグメントにつきましては、機械・工具の新規顧客開拓に向け、販売活動に注力してまいりました。その結果、売上高は1,181百万円で、前第3四半期連結累計期間比138百万円、13.3%の増収となりました。しかしながら利益面では、収益性の高い商品分野の販売が伸び悩んだことにより、セグメント利益は54百万円で、前第3四半期連結累計期間比32百万円、37.3%の減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は33,930百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,931百万円減少いたしました。純資産合計は27,155百万円となり、前連結会計年度末と比較して319百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は80.0%と前連結会計年度末と比較し、5.2ポイント増加いたしました。

資産の部については、前連結会計年度末に対して、現金及び預金が2,129百万円増加した一方、仕掛品が1,102百万円減少したこと、過去販売された製品の代金回収が進んだこととともない受取手形及び売掛金が2,627百万円減少したこと等により、流動資産合計が1,789百万円減少し、22,196百万円となりました。固定資産合計は、工場の改修にともない建物及び構築物が417百万円増加した一方、投資有価証券が341百万円、投資その他の資産のその他に含まれる長期性預金が350百万円減少したこと等により、前連結会計年度比141百万円減少し、11,734百万円となりました。

負債の部については、前連結会計年度末に対して、主に支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計額が828百万円減少したこと、前受金が745百万円減少したこと等により、負債合計は2,250百万円減少し、6,775百万円となりました。

純資産の部については、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、利益剰余金が237百万円増加するとともに、株式相場等の回復により、その他有価証券評価差額金が121百万円増加し、純資産合計は前連結会計年度比319百万円増加の27,155百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の業績につきましては、現時点で、平成28年5月9日に公表いたしました業績予想と変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,396,876	10,526,857
受取手形及び売掛金	8,582,311	5,955,109
有価証券	625,956	—
商品及び製品	588,135	979,914
仕掛品	4,210,252	3,107,896
原材料及び貯蔵品	889,188	811,348
その他	696,922	815,486
貸倒引当金	△3,781	△316
流動資産合計	23,985,861	22,196,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,183,882	2,601,751
機械装置及び運搬具(純額)	552,251	637,918
土地	4,284,948	4,240,786
その他(純額)	542,718	699,603
有形固定資産合計	7,563,800	8,180,060
無形固定資産	313,109	288,627
投資その他の資産		
投資有価証券	3,185,818	2,844,255
その他	819,476	427,311
貸倒引当金	△5,831	△5,831
投資その他の資産合計	3,999,464	3,265,735
固定資産合計	11,876,375	11,734,423
資産合計	35,862,237	33,930,720

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,895,861	1,424,491
電子記録債務	2,160,582	1,803,894
未払法人税等	249,574	10,255
前受金	1,806,268	1,060,550
賞与引当金	392,819	203,379
役員賞与引当金	15,250	—
その他	1,515,432	1,240,803
流動負債合計	8,035,789	5,743,375
固定負債		
長期借入金	67,483	22,500
役員退職慰労引当金	189,720	9,600
退職給付に係る負債	561,998	574,439
その他	171,057	425,179
固定負債合計	990,258	1,031,719
負債合計	9,026,047	6,775,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,900	2,015,900
資本剰余金	2,355,417	2,355,417
利益剰余金	22,508,925	22,746,739
自己株式	△272,451	△272,477
株主資本合計	26,607,792	26,845,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258,100	379,279
為替換算調整勘定	64,780	10,380
退職給付に係る調整累計額	△94,484	△79,613
その他の包括利益累計額合計	228,396	310,045
純資産合計	26,836,189	27,155,625
負債純資産合計	35,862,237	33,930,720



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	13,654,648	14,599,347
売上原価	11,158,839	11,708,345
売上総利益	2,495,809	2,891,001
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	612,410	614,186
賞与引当金繰入額	56,013	54,303
退職給付費用	46,739	42,999
貸倒引当金繰入額	624	△3,465
役員退職慰労引当金繰入額	10,980	1,080
その他	1,582,319	1,712,444
販売費及び一般管理費合計	2,309,087	2,421,549
営業利益	186,721	469,452
営業外収益		
受取利息	32,986	15,600
受取配当金	25,216	25,989
為替差益	—	42,579
その他	18,978	46,466
営業外収益合計	77,180	130,636
営業外費用		
支払利息	1,559	1,635
為替差損	4,031	—
固定資産除売却損	2,365	2,975
その他	1,139	1,688
営業外費用合計	9,096	6,299
経常利益	254,806	593,789
特別損失		
固定資産売却損	—	25,734
特別損失合計	—	25,734
税金等調整前四半期純利益	254,806	568,055
法人税、住民税及び事業税	81,085	80,809
法人税等調整額	39,265	97,469
法人税等合計	120,351	178,279
四半期純利益	134,454	389,776
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,454	389,776

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	134,454	389,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△88,362	121,178
為替換算調整勘定	△10,393	△54,400
退職給付に係る調整額	4,666	14,870
その他の包括利益合計	△94,089	81,648
四半期包括利益	40,365	471,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,365	471,424
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	5,825,032	4,509,106	1,590,229	687,058	1,043,222	13,654,648
セグメント間の内部売上高又 は振替高	23,900	10,846	19,375	8,317	455,155	517,594
計	5,848,933	4,519,953	1,609,604	695,375	1,498,377	14,172,243
セグメント利益又は損失(△)	△67,667	93,295	119,867	△34,832	87,553	198,215

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	198,215
セグメント間取引消去	△11,494
四半期連結損益計算書の営業利益	186,721

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	住生活関連 機器	検査計測 機器	産業機器	エクステ リア	機械・工具	
売上高						
外部顧客への売上高	5,826,614	5,346,067	1,622,458	622,315	1,181,890	14,599,347
セグメント間の内部売上高又 は振替高	33,822	110,773	6,538	6,338	339,341	496,813
計	5,860,437	5,456,840	1,628,996	628,653	1,521,231	15,096,160
セグメント利益又は損失(△)	△48,002	272,285	218,288	△35,935	54,938	461,574

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	461,574
セグメント間取引消去	7,878
四半期連結損益計算書の営業利益	469,452

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。